

# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 セーラー広告株式会社  
 コード番号 2156 URL <http://www.saylor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 義憲  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 青木 均

TEL 087-825-1156

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,381	4.0	6	△71.7	9	△71.4	△15	—
25年3月期第2四半期	4,214	9.7	22	—	33	—	△1	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △17百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △7百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△4.02	—
25年3月期第2四半期	△0.30	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	4,281	1,563	36.3	415.76
25年3月期	4,268	1,596	37.2	424.41

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,553百万円 25年3月期 1,586百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	9,400	8.3	160	21.4	180	15.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 南放セーラー広告株式会社 、 除外 1社 (社名) ー

当社は、平成25年5月14日開催の取締役会において、当社高知支社と株式会社南放(高知県高知市)の広告業務に関する営業機能を統合させるべく新会社設立を決議し、平成25年5月31日付で「南放セーラー広告株式会社」を設立いたしました。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	6,078,000 株	25年3月期	6,078,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,340,327 株	25年3月期	2,340,327 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	3,737,673 株	25年3月期2Q	3,737,673 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記事項 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策によって円安や株高が進み、景況感徐々に明るさを増してまいりました。しかしながら、電気料金の値上げや海外経済の減速による影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が続きました。また、広告業界におきましては、一部業種において広告出稿量の増加が見られましたが、当社グループ商勢圏におきましては、各企業の広告出稿に対する姿勢が慎重で、依然として厳しい経営環境が継続しました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営ビジョン『コミュニケーション効果No.1, 地域シェアNo.1』を掲げて2年を迎えるなか、徹底した顧客志向の営業活動を継続し、顧客課題の解決に資するきめ細かな提案活動に取り組んでまいりました。その結果、各企業のセールスプロモーション活動を安定して受注したほか、住宅・建築業から消費税増税前の積極的なプロモーション活動を受注するとともに、官公庁や公営競技から集客イベントを受注いたしました。また、平成25年5月31日付で設立した南放セーラー広告株式会社が同7月から営業を開始し、当第2四半期から売上高を計上したこともあって、当社グループの売上高は4,381百万円（前年同期比104.0%）となりました。

利益面におきましては、販売収支の管理を徹底し、粗利益率の改善に努めた結果、売上総利益率が前年同期と比べ0.2ポイント改善し、売上総利益は719百万円（前年同期比105.5%）となりました。当第2四半期連結会計期間におきましては、南放セーラー広告株式会社の営業開始に伴う諸費用を計上したほか、2期連続の増収増益を確保するために積極的な営業力強化費用を投入したことから人件費や研修費などが増加し、販売費及び一般管理費が713百万円（前年同期比108.2%）となり、営業利益は6百万円（前年同期比28.3%）となりました。また、福利厚生施設の破産手続開始申立に伴う貸倒引当金繰入額7百万円を営業外費用に計上し、経常利益は9百万円（前年同期比28.6%）となりました。以上の結果、増収ではあったものの、地方広告市場の回復鈍化と、当社グループが当初予想していた受注量には及ばなかったことが影響し、法人税などの計上により四半期純損益は15百万円の損失（前年同期は1百万円の四半期純損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における総資産は4,281百万円となり、前連結会計年度末比13百万円増加となりました。

資産の部では、現金及び預金ならびに仕掛品の増加と受取手形及び売掛金の減少などを要因として、流動資産は前連結会計年度末比74百万円減少し、2,094百万円となりました。また、のれんの発生などを要因として、固定資産は前連結会計年度末比88百万円増加し、2,187百万円となりました。

負債の部では、短期借入金の増加と支払手形及び買掛金ならびに未払法人税等の減少などを要因として、流動負債は前連結会計年度末比125百万円減少し、1,751百万円となりました。また、長期借入金の増加などを要因として、固定負債は前連結会計年度末比172百万円増加し、966百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末比32百万円減少し1,563百万円となりました。これは主に四半期純損失の計上と期末配当金の支払いによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期におきましては、積極的な営業力強化費用の投入などから販売費及び一般管理費が増加し、各利益とも前年同期を下回る結果となりましたが、通期の見通しといたしましては、今後、個人消費が緩やかに回復し、節約志向の緩和がうかがえるとともに、第3四半期以降広告繁忙期を迎え、さらに各企業の消費税増税前のプロモーション活動が活発化すると考えられるため、平成25年8月9日に公表した数字からの変更はなく、売上高9,400百万円、営業利益160百万円、経常利益180百万円を予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	760,358	801,673
受取手形及び売掛金	1,325,724	1,178,390
商品及び製品	15,831	12,169
仕掛品	4,511	35,882
原材料及び貯蔵品	1,316	1,451
その他	66,394	70,144
貸倒引当金	△5,183	△5,045
流動資産合計	2,168,953	2,094,665
固定資産		
有形固定資産		
土地	825,986	825,986
その他(純額)	311,443	319,491
有形固定資産合計	1,137,429	1,145,478
無形固定資産		
のれん	164	57,082
その他	10,706	16,034
無形固定資産合計	10,870	73,116
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	670,521	665,773
その他	301,945	330,623
貸倒引当金	△21,699	△27,798
投資その他の資産合計	950,767	968,598
固定資産合計	2,099,068	2,187,194
資産合計	4,268,021	4,281,859
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,256,235	1,247,648
短期借入金	214,892	268,484
未払法人税等	77,851	24,409
賞与引当金	64,200	67,028
返品調整等引当金	11,402	8,248
その他	252,601	135,674
流動負債合計	1,877,181	1,751,492
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	475,928	639,876
退職給付引当金	147,894	146,648
役員退職慰労引当金	33,647	38,695
その他	36,845	41,323
固定負債合計	794,315	966,543
負債合計	2,671,497	2,718,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,868	294,868
資本剰余金	195,080	195,080
利益剰余金	1,401,945	1,371,958
自己株式	△320,411	△320,411
株主資本合計	1,571,483	1,541,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,811	12,468
その他の包括利益累計額合計	14,811	12,468
新株予約権	10,230	9,858
純資産合計	1,596,524	1,563,823
負債純資産合計	4,268,021	4,281,859

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,214,801	4,381,926
売上原価	3,533,066	3,662,394
売上総利益	681,735	719,532
販売費及び一般管理費	659,031	713,098
営業利益	22,703	6,433
営業外収益		
受取利息	51	43
受取配当金	1,811	1,926
投資不動産賃貸料	24,445	21,554
その他	3,094	3,809
営業外収益合計	29,403	27,332
営業外費用		
支払利息	7,756	6,567
不動産賃貸費用	10,986	10,300
貸倒引当金繰入額	—	7,000
その他	312	458
営業外費用合計	19,056	24,326
経常利益	33,050	9,440
特別利益		
投資有価証券売却益	499	—
新株予約権戻入益	501	372
特別利益合計	1,001	372
特別損失		
固定資産除却損	2,171	87
保険解約損	1,722	—
その他	80	—
特別損失合計	3,975	87
税金等調整前四半期純利益	30,076	9,724
法人税、住民税及び事業税	29,565	22,771
法人税等調整額	1,643	1,989
法人税等合計	31,209	24,760
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,132	△15,036
四半期純損失(△)	△1,132	△15,036
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,132	△15,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,683	△2,342
その他の包括利益合計	△6,683	△2,342
四半期包括利益	△7,816	△17,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,816	△17,378
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。